



魅力だより



2回目のPDCAとなる2学期です。

意識調査を実施した学校においては、「見積もり値」を立てて、2学期の取組を決めたことと思います。

12月の「意識調査」で、「強肯定評価」の値が高くなるよう、それぞれ話し合ったことをもとに、実践を積み重ねてください。

9月21日(木)～22日(金)に国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターの高橋総括研究官による薩摩川内市モデル校区への実地調査がありました。

今回は、そのときにモデル校区内の小学校で御指導していただいたことを中心に、お伝えします。

1 「魅力」の取組は、全職員で

「全職員で子供を主語に、共通言語で語る職場に」

生徒指導提要にもあるとおり発達支持的生徒指導は、「すべての児童生徒を対象に、すべての教職員がすべての教育活動において行う」とされています。発達支持的生徒指導を踏まえた「魅力ある学校づくり」でも、管理職と実務担当者(生徒指導主任、研修係等)の連携と学校全体での意識の共有が大切です。

(共通言語:「全ての子供」・「居場所」・「絆」・「生徒指導の4つの視点」,「成長, 発達を支える」・等)

学年, 教科, 職の枠を超えて, 全職員で取り組むことができる!

2 学習指導と生徒指導の一体化

「学習指導と生徒指導の一体化」は、発達支持的生徒指導, 魅力ある学校づくりを進める上で、最も重要な取組です。「学習指導の中に、生徒指導が内在している」ことをいかに教師が意識するか、それが大切です。

薩摩川内市では、全国学力・学習状況調査の問題を生徒指導の視点で捉え、今後望まれる児童生徒の資質・能力, 教師の関わりについて、市内の学校に伝えています。

※薩摩川内市教育委員会作成資料より抜粋

全国学力・学習状況等調査(小6国語)

「ぼくは、運動の面から考えてみたいな。」

自己決定の場
自分の考え・立場を選択し、発表・対話する場がある。
(運動・食事・睡眠など、複数の選択肢から選べる。)

相田さんの学級では、健康に過ごすために、自分でできそうなことを考えることにしました。

全国学力・学習状況等調査(中3英語)

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト(speech contest) についてスミス先生(Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下線を書き直さない。

共感的な人間関係
相手の考えに関心を抱き、助言する。

自己存在感
助言が受け入れられる。

How are you?
We have a speech contest next Friday.
The speech contest starts at 10:00.
You have to come to the speech contest.

【コメント】
この英文は、依頼する表現に修正したほうがよいと思う。

○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
○ 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか。

学校は、児童生徒の「よいところを評価している」との回答が多い。

児童生徒は、先生方が「よいところを認めてくれている」の回答が少ない。

評価する(褒める)ポイントに教師と子供の間
にずれが生じている

生徒指導の4つの視点で捉える。

- ①自己存在感の感受への配慮
- ②共感的な人間関係の育成
- ③自己決定の場の提供
- ④安全・安心な風土の醸成

「子供と教師の意識のずれ」はなぜ生まれたのか、また、どうすれば子供に教師の思いが伝わり、子供の自己肯定感の向上につながるのか。

3 とにかく、授業を変える!

「良い授業には、必ず生徒指導が内在している。」

育英小学校



2年生が話し合いにチャレンジモデルを示しながら、先生が優しく対話しながら教えています。子供たちのワクワクした気持ちを表す真剣な眼差しが印象的。(生徒指導の視点②④)

亀山小学校



運動会のダンスの練習。振り付けの一部は、子供たちが考えました。先生の温かい声かけと笑顔で安心して、いきいきと表現する子供たち。(生徒指導の視点②③④)

可愛小学校



高橋先生より、特に「答えが限定されないめあて(目標)」、「めあてと連動したまとめ、ふり返り」が重要とのこと。(教科の本質、自分の学びや成長を感じるためにも)

6年生社会。「答えが限定されないめあて」の設定(どのように～、なぜ～等)、子供たちが資料等を選択し、主体的にまとめたシートを提示して交流、「めあてに合致したまとめ、ふり返り」1時間の学びは生徒指導にあふれ、主体的・対話的で深い学びの実現が図られています。

(生徒指導の視点①②③④)

これまでも行われてきた取組を、生徒指導の4つの視点で捉え直した上で、価値付け、今後は授業の中で、意識的に組み込むことがポイントです。

4 不明な点、疑問があれば、いつでも連絡してください!

各学校では、取組を進める中で、不明なことや疑問に思うことが出てくることと思います。ちょっとしたことでも、どうぞお気軽にお尋ねください。(市町村教育委員会、各学校からでも大丈夫です。)

【連絡先】高校教育課学校教育生徒指導班